

## 選択領域 8月8日(火) その1

☆主な受講対象者 幼:幼稚園教諭、小:小学校教諭、中:中学校教諭、高:高等学校教諭、特:特別支援学校教諭、養:全校園種の養護教諭

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-1	特別支援教育	6時間	教諭・養護教諭	幼・小・中・高・特・養	180名

テーマ：障害児病理学のトピックス

講師：江原 寛昭

- 医学的立場から、
- 1) 発達障害、
  - 2) 重症心身障害児の医療的ケア、
  - 3) 食物アレルギーとアナフィラキシーショック、
  - 4) 痙攣および頭部外傷の対応、
  - 5) 学校保健

の5点に関して、教育現場で知っておいた方がよい事項を概説する。

テーマ：配慮が必要な子どもと保護者への支援のあり方

講師：窪田 知子

LD、ADHD、自閉症スペクトラム障害だけでなく、複雑な家庭環境に育つ子どもや虐待など、“ちょっと気になる子ども”や“配慮が必要な子ども”はますます増えているように感じられます。そんな子どもたちへの合理的配慮も求められています。また、保護者のニーズも多岐にわたり、保護者対応に苦慮する現場の声もよく聞かれます。本講習では、そんな子どもたちや保護者に対して、学校や教師がどのように支援できるかを一緒に考えたいと思います。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-2	保健と体育の実践的指導力を考える	6時間	教諭	幼・小・中・高・特	60名

テーマ：運動遊びや体育の学習指導で求められる力を考える

講師：柴田 俊和（びわこ成蹊スポーツ大学）

今後実施される、幼稚園教育要領と学習指導要領に従って教師と子どもの双方が満足できる運動・体育学習を進めていくために、幼稚園・保育園および各学校段階で運動指導や保健体育の授業にかかわる教師や指導者は、どんな力を身につけ、実践の前や実践中に、どんなことを考えなければならないのかを、体育科教育学とスポーツ運動学の立場から考えていきます。

テーマ：わかって使える、共に創り学ぶ保健学習を考える

講師：谷川 尚己（びわこ成蹊スポーツ大学）

健康教育や保健教材・授業に関する最新の知見等に基づき、わかって使える・創り学べる保健教材と授業の重要性を考えていきます。具体的保健教材例を授業形式で提示しつつ、実践的保健教材・授業について検討していきます。また、保健における「知識を活用する学習活動」「アクティブラーニング」に触れたり、現代的課題でもある防犯・安全教育等に関する教材も扱います。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-3	史料とあるく、論理をまなぶ ～社会科における2つの方法をめぐって～	6時間	教諭	小・中・高・特	40名

テーマ：史料とあるく

講師：宇佐見 隆之

小学6年社会科、中学社会歴史的分野、高校地理歴史科日本史と児童生徒の成長過程によって、教科書の記載は異なっている。しかし、どのような記載でも背景には史料による裏づけが存在する。教科書記載の根拠となる史料の実際に触れ、記載の意味を理解することを目指す。特に伝源頼朝像、織田豊臣政権など記載が変化した内容を扱いたい。また、歴史の導入として身近な史跡は大変有効である。歴史をどう学ぶかの一例を大学構内やその周辺を歩いて考えてみたい。

テーマ：論理をまなぶ

講師：齋藤 浩文

論理的に考え、表現することがいかなることであるのかを知ること、そして、実際に論理的に考え、表現できるようになることは、学校教育において校種・教科を問わず目指されるべきであるが、とりわけ、現代社会の諸問題に適切に対応していくための基礎的スキルとして、社会科におけるその意義は大きい。この講座では、論理学を背景として成立したクリティカル・リーディングと呼ばれる分野について紹介するとともに、理論・実践の両面を意識しながら、論理について考える。

## 選択領域 8月8日(火) その2

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-4	中学・高等学校における家庭科教育	6時間	教諭	中・高	40名
<p>テーマ：家庭科における教材研究</p> <p style="text-align: right;">講師：矢野 由起</p> <p>生徒の生活力を高めるためにはどのような教材を選びそれをどのように用いればよいのでしょうか。本講習では、いくつかの具体的な教材をとりあげ、受講者の皆さんとともに家庭科における教材のあり方と選び方についてさまざまな視点から考えたいと思います。</p>					
<p>テーマ：次期学習指導要領の方向性と家庭科の授業構想</p> <p style="text-align: right;">講師：大矢 英世</p> <p>次期学習指導要領では、持続可能な社会やキャリア教育そしてアクティブラーニングがキーワードとなっている。家庭科としては、どのような視点に立ち、どのような授業を組み立てていったらよいのか、持続可能な社会、キャリア教育、アクティブラーニングの本質を問いつつ、家庭科の授業づくりについて検討する。なお学校で使用している教科書をご持参ください。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-5	音楽ワークショップ(音楽づくり・器楽)	6時間	教諭	小	40名
<p>テーマ：楽しい音楽づくり</p> <p style="text-align: right;">講師：林 睦</p> <p>現行の指導要領で一層重点が置かれている音楽づくり・創作について、その導入の手立てをわかりやすく紹介し、実践してみます。音で遊ぶ、音楽をつくる活動は、手法や評価の仕方がわかりにくいと思われていますが、やってみればとても楽しく、意義ある活動です。授業ですぐにやってみることができる活動を実践しながら、学んでいきます。(動きやすい服装でご参加ください。)</p>					
<p>テーマ：音楽鑑賞、器楽の指導について考える</p> <p style="text-align: right;">講師：中根 庸介</p> <p>ソプラノリコーダーを使い、管楽器の基本的な奏法を確認しながら、器楽の指導法を見つめ直すことを目的とします。また、音楽鑑賞の授業で「心に響くなにか」を感受できるような授業の理想像を探るべく、西洋音楽を中心とした音楽史、演奏史をもう一度見なおし、教育現場で生きる鑑賞教材について考察します。(ソプラノリコーダーを持参して下さい。)</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-6	小学校国語科教材の検討	6時間	教諭	小	40名
<p>テーマ：方言教材の検討</p> <p style="text-align: right;">講師：松丸 真大</p> <p>この講習では生活のことばである方言について受講者とともに考えていきます。国語科では普段話すことばを対象として捉え、客観的に見つめることを要求されます。自分たちが普段から話している方言は格好の題材と言えます。前半で日本語諸方言の概略を説明した後、後半でいくつかの取り組みを紹介しながら方言を用いた教材について検討します。</p>					
<p>テーマ：教材について考える</p> <p style="text-align: right;">講師：長岡 由記</p> <p>この講習では、「言葉による見方・考え方」を育む授業を行うために必要な教材研究の在り方について、小学校国語科教科書教材を取り上げて具体的に検討します。次期学習指導要領の国語科の動向を踏まえながら、特に説明的文章教材と入門期の文字学習に活用する教材を取り上げ、探究的に学びを深めていくための契機を教材から見出していきます。</p>					

選択領域 8月8日(火) その3

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
D-7	保育者養成の現状と 幼児教育方法の理解	6時間	教諭	幼	100名
<p>テーマ：(午前) 幼稚園教諭を育てる</p> <p style="text-align: right;">講師：金森 由華(多治見ひまわり幼稚園)</p> <p>幼稚園教育の場において、教師は子どもや保護者との関わりが主になります。しかし、経験年数を重ねていくと、自分のクラスの事だけを考えることが許されなくなります。後進の指導も大きな職務の一つと言えるでしょう。本講座では幼稚園教諭をいかに養成していくかについて指導案の添削、教育実習評価の方法を説明しながら理解を深めていきます。</p>					
<p>テーマ：(午後) 幼児教育における「環境」を考える</p> <p>幼児教育において「環境」が重要であることは、幼稚園教諭ならば誰もが知っていることでしょう。「環境」への考えを深め、その重要性を理解していくことは、幼稚園教諭の永遠の課題であるとも言えます。幼稚園教育要領における「環境」領域と、「環境を通して行う」教育の「環境」は同じ概念ではありません。本講座では具体的な遊びを例示し、それぞれの「環境」の違いに注目しながら、幼児教育における「環境」の意味を捉えなおします。</p>					